

# 富山市立五福公民館

## ◆事業の目的

田植えから稲刈り・脱穀を体験し、昔から綿々と続く米作りの大変さ・大切さを学ぶ。また、臼と杵を使う昔ながらのもちつきを体験させ、三世代の交流を図る。五福の歴史を学ぶことで、郷土への愛情と誇りを持ち、次世代に引き継ぐ。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月22日(木)	米作り体験(代掻き)	地区内田んぼ	82名
5月25日(月)	米作り体験(田植え)	地区内田んぼ	92名
10月3日(水)	米作り体験(稲刈り)	地区内田んぼ	92名
10月15日(月)	米作り体験(脱穀)	地区内田んぼ	87名
12月2日(日)	もちつき大会	五福小学校	250名
1月17日(木)	歴史講座	五福公民館	69名

## ◆事業の様子



☆代掻き体験 田植えをする前にコンバインによる代掻きを見学しました。子ども達は昔の農業の仕方や道具についての説明を受け、熱心に耳を傾けていました。

☆田植え体験 地域の方々より植え方等の説明を聞いた後、子ども達は素足で田んぼに入り、六角ころがしでつけた筋目に沿って、苗を一本一本手で丁寧に植えました。土の感触を楽しみながら、一生懸命に植えました。ころがし(草とり)も行い、稲の成長を見守りました。

☆稲刈り体験 神明公民館からも地域の方を指導者にお迎えして、稲刈りを行いました。稲の刈り方・縛り方を教わった後、自分達の手で一株ずつ刈り取りました。刈り取った稲を縛り、昔ながらのはさぎに掛け、10日ほど自然乾燥させます。

素晴らしい天気の下、子ども達は、はりきって作業をしていました。



☆脱穀体験 昔の脱穀機を使って子ども達が脱穀に挑戦しました。子ども達は昔の脱穀機に興味深々で説明に聞き入っていました。はさぎで自然乾燥させた稲束を、足踏み脱穀機や千歯こぎで脱穀し、とうみ(選別機)にかけました。昔の人達の大変さを実際に感じ、よい体験となりました。その後、ふるさとづくり推進協議会会長さんの納屋で、もみすりも見学しました。

☆もちつき大会 臼と杵を使って、もちつき大会を開催しました。つきたてのもちに、あんこやごま、きなこなどつけて食べました。自分達の手で苗から育てて出来たもち米を使い、ついたもちの美味しさは格別でした。子ども達・保護者・地域の方々がたくさん参加され、もちつきを通して三世代が交流できました。



☆歴史講座 「歴史にみる白鳥城」と題し、白鳥城からみた五福の歴史を富山市郷土博物館の加藤達之館長にお話ししていただきました。白鳥城は、昨年度作成した五福校下歴史マップでも取り上げた史跡なので、皆さん熱心に聞き入っていました。歴史マップを改めて読み直し、家庭でも五福の歴史を話題にする機会となったと思います。

## ◆事業の成果と課題

昔ながらの米作り・もちつきの体験は、その大変さ・大切さを学ぶことで、子ども達の豊かな心を育んだと思います。地域の方々とはふれあう機会が持てたことも地域の絆を感じるきっかけとなりました。また、歴史講座は、ふるさとのすばらしさや郷土に対する誇りを感じる機会となったと思います。